

名松線（家城駅～伊勢奥津駅間）復旧工事の着手について

松阪駅～伊勢奥津駅間を結ぶ名松線は、平成21年10月の台風18号により線路設備に大きな被害を受けました。被害の大きかった家城駅～伊勢奥津駅間は現在もバス代行輸送を実施しています。

平成23年5月に、治山事業・水路整備事業とその維持管理は三重県及び津市が実施し、鉄道の復旧は当社が行うというそれぞれの役割を確認し、当社はこれまで治山事業・水路整備事業の進捗に合わせて鉄道復旧工事に着手できるよう、被災箇所の定期的な巡回などを行ってきました。

このたび、鉄道の復旧の前提となる、三重県・津市による治山事業・水路整備事業が順調に進捗する中、効率的に作業を進めるべく、当社も下記のとおり平成25年5月30日から名松線の復旧工事に着手することにいたしました。

復旧工事の概要は以下の通りです。

1. 着工時期

平成25年5月30日

2. 主な工事内容

- ・土砂撤去
- ・盛土復旧
- ・線路・電気設備の復旧

3. 名松線（家城駅～伊勢奥津駅間）復旧工事完了および運行再開時期

平成27年度内

※三重県・津市の治山事業・水路整備事業の完了と同時期に復旧工事を完了予定

4. 費用

約4.6億円

〔参考〕台風18号による名松線被災状況（発生当時）

